



関西エアポート、グループ全体でプラスチック削減を推進 2020年4月から運営3空港でのショッピングバッグをエコ素材に切り替え

関西エアポートグループは、環境にやさしいスマートエアポートの実現を目指し、昨年4月に「One エコエアポート計画」を策定しました。運営3空港（関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港）における環境への負荷を低減することを目的に、「気候変動への対応」「資源循環」「周辺環境との共生」「環境マネジメント」を基本方針とした様々な活動を行っています。

6月は環境省が定める「環境月間」です。昨今では廃プラスチックが行き場を失い、マイクロプラスチックによる海洋汚染が世界中で大きな問題となっています。関西エアポートグループもこの問題を重視しており、プラスチックの削減・リサイクルに取り組んでおります。そして、2020年4月から直営免税店及び直営物販店の約30店舗で、使用しているビニール製ショッピングバッグを環境に配慮した紙バッグや、生物由来のショッピングバッグに切り替えることにしました。紙バッグの素材には、森林の管理や伐採が環境や地域社会に配慮され、流通・加工時に認証を受けていない林産物が混ざらないことが確認された「FSC認証」を受けたものを使用します。また、関西エアポートグループ社員全員にエコバッグを配布し、買い物時のプラスチック袋の使用を減らしていきます。

今回の取り組みは「気候変動への対応」の一環ですが、それ以外にも再生可能エネルギーの導入や空港車両のZEV（Zero emission vehicle）化^{*1}を推進していきます。また、「資源循環」として、廃棄物の分別や最小化に取り組むとともに、厨芥ごみの再資源化^{*2}も行います。さらに大阪国際空港では豊中市と協力し、空港のテナント事業者さまに対して豊中市の優良エコショップ認定^{*3}取得の働きかけを行っており、今後プログラムに参画していく予定です。

関西エアポートグループは、今後も空港関連事業者や周辺自治体の皆さまと連携し、地域コミュニケーションを大切にしながら環境負荷の低減に向けた取り組みを推進し、周辺環境と共生した空港をめざしてまいります。

「One エコエアポート計画」について

<http://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/efforts/oneecoairport.html>

*1 燃料電池自動車や燃料電池フォークリフトの導入を促進。また、EV車両を導入促進するための充電設備の増強を検討。

*2 生ごみを微生物によって分解し、水として排出する機器の導入を検討。

*3 豊中市の優良エコショップについて

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/genryou_recycle/ecoshop/yuuryoueko.html

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 コーポレート・コミュニケーションズ
Tel : 072-455-2201

25 80 13
KIX ITAMI KOBE



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ：www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界37カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、46空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル、イギリス、スウェーデン、セルビア、カンボジア、日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、コスタリカ、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で約250社の航空会社が就航し、2018年の旅客数は2億4,000万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2018年の連結売上高は16億ユーロ、グループ全体の売上高は36億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構